

令和3年度学校評価アンケート（生徒・保護者）集計結果について

宮城県角田高等学校

- 1 実施期間 保護者：令和3年10月7日（木）～10月14日（木）
生徒：令和3年10月7日（木）

- 2 保護者アンケート回答率 77.3%（327名）
（昨年は72.1%，328名）

- 3 調査項目および集計結果 別紙

- 4 分析方法

21の質問項目の「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の2つを肯定的回答、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の2つを否定的回答と二分化して集計しました。また、昨年度と比較して大きく増減している項目に注目しました。

- 5 アンケート集計結果から

今年は Kmail に URL を貼り付けて Forms で回答してもらうアンケートを実施しました。結果は昨年よりも保護者のアンケート回収率は上昇しました。春先の P T A 総会でも Forms を使用して議決していますので保護者の方も大分慣れてきたようです。

分析は例年、肯定的回答が多い傾向にあることを考慮して、肯定的回答が 85%以上の項目と否定的回答が 20%以上の項目を斜体で示しました。

肯定的回答が生徒・保護者ともに 85%を超えたのは Q2「挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。」Q3「進路に関する意識啓蒙や情報提供が適切で、進路目標の明確化に向けた指導が行われている。」Q4「教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。」Q5「部活動は活潑に行われている。」Q6「生徒会活動は活発に行われている。」Q10「保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。」Q13「生徒にとって、学校生活は充実している。」Q16「生徒の文系・理系の選択科目の内容や方法について十分に説明や指導が行われている。」Q21「健康や保健に関する指導が、適切に行われている。」の9項目です。一昨年は1項目、昨年は7項目だったことを考えると全体的に徐々に評価が上がってきているといえます。特に顕著なのは Q3「進路に関する意識啓蒙や情報提供が適切で、進路目標の明確化に向けた指導が行われている。」の3年生生徒の肯定的回答が 97.7%，3年生保護者の肯定的回答が 92.1%と極めて高いことです。Q4「教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。」も2・3年生の生徒・保護者の肯定的回答がすべて 90%を超えていることから、生徒と教員の距離が近く懇切丁寧な指導ができていることを示しています。また、全体を通して保護者の回答で一番多かったのは Q13「生徒にとって、学校生活は充実している。」の 90.2%でした。保護者の目から見て自分の子どもが充実した生活を送っているように見えるということは安心して学校に任せられるということでもあり、この項目が一番高いということは学校に対する高評価の顕著な表れであると思います。昨年と比較すると、

生徒・保護者ともに肯定的回答が大きく増加した項目が Q11「校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。」で、いずれも 10%以上増加しました。昨年度まで自由記述欄で複数要望があったクーラーが設置された効果は非常に大きかったと言えます。また、新体育館ができたことも一因として挙げられると思います。

一方、否定的回答が生徒・保護者ともに 20%を超えたのは Q7「有意義な学校行事がある。」 Q20「図書館が有効に活用されている。」の 2 項目です。最も否定的回答の多かったのは、生徒は学校行事に関する項目で、保護者は図書館に関する項目でした。生徒は直前の文化祭がコロナの影響で延期・縮小されたことに対する不満が大きく影響したと思いますが、昨年度も修学旅行が中止になるなど以前のようにまともに実施された学校行事がほとんどなかったことが大きかったと思います。また、保護者のみ否定的回答が 20%を超えたのは Q8「地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。」 Q9「災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。」 Q12「日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。」 Q15「教育課程は生徒の個性を伸ばし、将来の希望を実現するように編成されている。」 Q17「授業では教材や教え方を工夫していねいに指導している。」 Q19「交通安全教育が積極的に行われている。」の 6 項目です。地域や伝統に根ざした学校づくりやいじめの早期発見や交通安全教育については新型コロナウイルス感染症の影響で活動自粛などもあり見えていない部分があると思います。学習・授業関連の項目に関しては、年次が下がるほど評価が低い傾向が見られます。図書館については、全国的に見ても読書離れが進むなか、本校でも同様の傾向が見られることの表れでしょう。

最後に、生徒と保護者の回答で差のあるものを見ていきます。Q8「地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。」 Q9「災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。」 Q12「日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。」 Q15「教育課程は生徒の個性を伸ばし、将来の希望を実現するように編成されている。」 Q17「授業では教材や教え方を工夫していねいに指導している。」 Q18「生徒に対して、教科の学習方法や学習計画の説明は十分に行われている。」 Q20「図書館が有効に活用されている。」の 7 項目で生徒より保護者の肯定的回答が 10%以上少ない結果となりました。毎年のことですが、学校のことが見えないという自由記述が多く、生徒が家庭であまり親と話をしなかったり、学校便りなどの配布物を渡さなかったりしている影響ではないかと思います。今年も新型コロナウイルス感染症の影響で学校を外部に公開する機会が全くありませんでしたので昨年同様校内の様子が分からなかったと思われます。今後も積極的に保護者に対して学校からの情報を発信していく必要があると思います。

保護者の自由記述欄については 6 2 件（1 年次 2 3 件、2 学年 2 4 件、3 学年 1 5 件）の意見・要望がありました。